

行政視察報告

委員会名	議会運営委員会
視察日	平成28年4月19日(火)
視察先	愛知県安城市
視察委員	筒井 たかひさ 委員長 上原 ゆみえ 副委員長 安西 俊一 議長 平田 みつよし 理事 中村 しんご 理事 米山 真吾 理事 大高 拓 理事 秋本 とよえ 委員 伊藤 よしのり 委員 くぼ 洋子 委員 黒柳 じょうじ 委員 出口 よしゆき 委員 三小田 准一 委員

調査項目	議会運営及び議会改革について(主にペーパーレス議会について)
事業概要	議会改革検討委員会での検討を経て、平成26年度から議員への連絡方法をFaxからメールとし、通信等の経費削減と会議開催通知や事前配布資料等のペーパーレス化を進めた。27年度はICT技術の活用を体系的、計画的に進め、タブレット端末等の早期導入を支援した。 1 IPad Proの導入 平成28年1月 2 議会ICT推進基本計画 など
視察内容	議会ICT化の検討事項 1 議会運営の効率化・迅速化 (1) ペーパーレス化 (2) コピー、製本、差し替えなど作業の軽減、スピード化 2 議会の見える化、魅せる化 (1) ライブ中継、SNSの活用 (2) 大型スクリーン導入、説明資料および持ち込み資料の電子化 3 危機管理体制の強化 (1) 災害情報の共有化および情報伝達の迅速化 4 議会の活性化、議員の資質向上 (1) 情報伝達の迅速化、議会スケジュールの共有、資料の電子ライブラリー化
主な質疑内容	(問)議員が日常的に利用して、データ通信量の使用制限を超えることはないか。 (答)通常は超えることはない。私的利用で超えた場合は自己負担にする。 (問)会派用のPCと導入したタブレットは用途の区別はあるか。また、タブレットの導入で今後PCは不要になるか。 (答)おそらくPCは残ると考えている。タブレットよりPCの方が文章の入力がしやすい。タブレットには手書きソフトでメモをして、あとでPCで必要な資料作成などを行っている。タブレットでの文章入力にはストレスがあるので、主に資料の閲覧に利用している。 (問)災害情報の一元化とは、どのようなものか。 (答)災害対策本部で管理する災害情報を、職員と議員が共有することができるように、現在試行中である。 (問)会議中もネット利用が可能か。 (答)会議中に必要な情報をインターネットで調べることができるので、審議は今までより深まった。従来なら会議後に調べていたことが、すぐに確認して質疑ができるようになった。 (問)タブレットを庁舎外へ持ち出して活用しているか。 (答)行政情報をどこでも見られる便利さがある。資料のデータ化の拡充を進めている。 (問)本会議での利用も進んでいるか。 (答)半数ほどの議員が、本会議での一般質問の際に使っている。 (問)議員が作成した議会資料も電子化しているか。 (答)議員の一般質問通告などはタブレットで共有している。 (問)市のホームページに載っている行政資料との区別はあるか。 (答)市のホームページの基本計画等も、議会で必要なものはタブレットに入れるようにしている。

行政視察報告

委員会名	議会運営委員会
視察日	平成28年4月20日(水)
視察先	兵庫県丹波市
視察委員	筒井 たかひさ 委員長 上原 ゆみえ 副委員長 安西 俊一 議長 平田 みつよし 理事 中村 しんご 理事 米山 真吾 理事 大高 拓 理事 秋本 とよえ 委員 伊藤 よしのり 委員 くぼ 洋子 委員 黒柳 じょうじ 委員 出口 よしゆき 委員 三小田 准一 委員

調査項目	議会運営及び議会改革について(主にペーパーレス議会について)
事業概要	平成23年の議会基本条例制定をはじめ、議員定数の削減や議員各自の政策立案能力の向上、議員倫理の確立、タブレットの導入、積極的な情報公開による市民に開かれた議会運営など、議会改革に取り組んでいる。 1 本会議・特別委員会のネット中継 2 議員用タブレットの導入 平成27年3月 3 タブレット導入効果の測定を予定
視察内容	議会改革の主な推移 1 平成22年 会議録検索システムの運用 2 平成23年 議会基本条例制定、インターネットライブ・録画中継開始 3 平成25年 フェイスブックの運用 4 平成26年 タブレット導入、会議への電子機器持ち込み 5 平成27年 会議資料の一部をペーパーレス化開始
主な質疑内容	(問)タブレットの配布状況と、課題について。 (答)議員全員に配布している。議会先行なので理事者側はまだ使っていない。複数の資料を並行して使用する場合にタブレットは課題がある。 (問)会議中にインターネット接続は可能か。 (答)ウェブ検索、スケジュール管理などできる。会議に関係ないものを見ることは厳禁。 (問)議会資料はいつから電子化されているか。 (答)会議録は平成20年から閲覧できる。市のホームページの会議録に接続できるようなショートカットをタブレット上に置いている。 (問)本会議、委員会への持ち込みは。 (答)いずれも、持ち込んで使用している。一般質問通告など議員から発信する文書は、タブレット、ファックス、メールなど、それぞれで使い分けている。通告書をタブレットに入れた場合は、会議中に全員が見ることができる。 (問)ペーパーレス化した資料は具体的にどんなものがあるか。 (答)諸般の報告(議長の活動報告、委員会活動報告、損害賠償の専決処分、経営状況の報告、例月出納検査など)、市長の行政報告、市政方針、請願文書表、教育方針、質問通告、議案付託一覧、委員長報告など。本会議録は議員分の印刷製本を廃止した。議案、議案審議資料、予算書、決算書などは、当面は紙とPDFデータを併用している。 (問)各議員の活用の状況は。 (答)バラつきはあるが、徐々に活用が進んでいる。通知はメールで行い、スケジュール管理も利用されている。タブレットでデータはいつでもどこでも取り出せるというのが、最大のメリット。災害時に、現場写真を載せて情報共有をした例もある。 (問)タブレットへの議案および資料の掲載時期は。 (答)資料配布はこれまで会議当日だったが、タブレット導入によって前日になった。所属委員以外も、これらを閲覧できるようになった。